

小美玉市古文書研究会



久米家と関係の深い竹原神社と境内を彩るアジサイ

古文書の研究が新たな発見へ

小美玉市古文書研究会は、地域に残る古文書の発掘及び調査・研究活動に取り組んでいます。今年度は史料提供に協力くださった寺崎区の篠原家、先後区の東ヶ崎家、竹原区の久米家へと訪問し、歴史の舞台となった当家や周囲の景観などを調査してきました。古文書の解読は難解ですが、新しい歴史の発見につながる大切な研究であるので研究の成果を広く発信していきたいと思ひます。

(小美玉市古文書研究会 川島先則)



納場地区コミュニティ

水生生物観察会にて、川に生息する生き物を捕獲する様子

4年ぶり 白鳥を観る集いを開催

令和6年1月28日(日)に「白鳥を観る集い」が池花池やその周辺広場を会場に4年ぶりに開催しました。島田市長など多くの来賓を迎え、池花池で越冬している白鳥や水生生物の観察をしました。その他にもOMT-JAPANのパフォーマンスで会場を盛り上げたり、様々な食べ物が無料で振舞われたりしました。池花池近くの小川での水生生物観察会では、川底に設置された笹竹の束を上げると、タナゴ、ドジョウ等多くの子魚が捕獲され、子供達は歓声を上げていました。(納場地区コミュニティ 岡村共由)

あなたもまちづくり活動、始めてみませんか？



まちづくりの認定を受けませんか？

まちづくり組織の認定

地域を舞台に、地域活性化や課題解決を目的として市民主体で活動する組織が「まちづくり組織」の認定を受けることで市からの支援を受けることができます。

※認定の可否は、有識者等で構成されるまちづくり審査会(毎年、4月・10月頃に開催)で決定されます。

お問い合わせ

小美玉市役所 市民協働課
☎0299-48-1111(内線1133)

まちづくり活動を支援しています！

補助金

「新たな取組を始めたい」「もっと充実させたい」などの要件を満たすと、活動資金の助成申請ができます。

人材育成

連絡会主催の研修やふるさと塾などのまちづくり人材を育成する研修会に参加することができます。

広報支援

市が発行する広報紙や公式ホームページを使ってまちづくり活動の情報を広く周知することができます。

備品貸出

イベント開催に必要な机、イスなどの備品を借りることができます。※備品一覧は市ホームページに掲載



おがわ地区コミュニティ

今月の表紙

おがわ地区コミュニティ三世代交流会開催！

令和5年11月12日(日)におがわ地区コミュニティとして初の三世代交流会を小川南小学校体育館で開催しました。ポッチャ、スカットボール、囲碁ボール、段ボール迷路、ものづくり体験など沢山のコーナーが会場を彩り、世代を超えて楽しく交流ができました。大盛況のまま

終了しましたが、次回は小川地区に限らず他地区の方々もご来場して楽しんでいただければと思っておりますので、ぜひお越しください。(おがわ地区コミュニティ 広報部会部会長 藤井里美)

まちづくり認定組織数 令和6年3月現在

学区コミュニティ…12団体 テーマ型まちづくり…19団体 まちづくり委員会…36団体

まちづくり組織
情報はこちら➡



中台東「ホトメの里」の会



↑ 設立当初の集合写真(左) 玉里学園義務教育学校2年生の校外学習協力の様子(右)



設立17周年
中台東「ホトメの里」の会

令和6年3月で設立17周年を迎えた中台東「ホトメの里」の会は、地域の子供たちを中心に、ふるさとへの情操を育む活動をしており、メダカや菜の花、野鳥などが生息する自然環境の大切さを学び、会の活動を通して生まれる会員同士の交流を大事にしています。子供が少なくなり、さらに活動スタッフの高齢化もありますが、交流もあり少しずつ次世代へ繋げながら会は日々活動しています。

(中台東「ホトメの里」の会 会長 小松邦彦)

安心・安全な地域を目指して

世楽パトロール隊は2005年11月に結成され、現在は45名の隊員で活動しています。主な活動内容は徒歩や青パトロール車での世楽区内パトロール、立て看板・防犯旗の設置を行っています。また、オリジナルグッズ・防犯便りを世楽区内の家庭に配布や発行をし、危険情報を定期的に周知するよう努めています。今後も地区の皆様が安心して暮らせるようにパトロール隊の活動を続けられればと思います。(世楽地区パトロール隊 隊長 八文字弥利)

世楽地区会



↑ 世楽地区パトロール隊、世楽の安全を守っています！

特定非営利活動法人わわわネット



↑ SDGs小美玉市民大学第5回講座にて熱心に受講する皆さま

令和5年度SDGs小美玉市民大学

特定非営利活動法人わわわネットでは、SDGs(持続可能な開発目標)やエシカル消費の理解を深めてもらうための「小美玉市民大学」を実施しました。小美玉市民大学では、現代社会の様々な課題に興味を持ち、日々の暮らしをSDGs視点で捉え直してもらうことを目的としております。全5回の実施で171名もの参加があり、回ごとに異なるテーマで展開されたワークショップでは活発に意見交換が交わされ、実りあるものとなりました。

(特定非営利活動法人わわわネット 米川 久子)

北浦町内会



↑ 様々な作品の展示で大盛況だった北浦公民館

北浦の思い出蘇った文化祭

令和6年2月に開催の北浦町内会主催の文化祭は2日間で計200人以上が来場しました。一日目は手品、日本舞踊、カラオケ、二日目は手芸、絵画、写真など約200作品が展示され大盛況となりました。今年は北浦町内会創立50周年にあたり創立当初の写真や30年前の・お祭りの映像を会場で放映し、当時の思い出話で盛り上がり、その後は年2回実施の健康診断受診で一喜一憂していました。今後も健康寿命の維持向上に役立てる様にしてゆきます。

(北浦町内会 区長 加藤良三)

たちばなコミュニティ



↑ 地域の子供たちと交流を深める小美玉市役所職員

雨をも吹き飛ばす三世代交流事業

令和5年11月26日(日)に小美玉市小川運動公園にて、たちばなコミュニティ初の三世代交流事業を開催しました。当日は寒さの中、小雨交じりの天候でしたが各地区の区長さんやコミュニティ役員の声かけ・協力員の事業運営もあり、多くの人たちが各種目に参加していただき楽しんでもらいました。また、小美玉市役所の若手職員にも準備から一緒に参加してもらい、地域の人たちとの交流を楽しんだ一日となりました。(たちばなコミュニティ 会長 大塚好蔵)

防災
フェスティバル開催！

令和5年11月25日(土)に3学区コミュニティ(上吉影・下吉影・野田)と小川北義務教育子ども会育成連合会主催の防災フェスティバルを小川北義務教育学校で開催しました。模擬放水・煙体験・心肺蘇生・炊き出しなどのブースを設営し、スタンプラリー方式で多くの方々に体験していただきました。災害はいつどこで起こるか分からないため、日頃から防災に向き合い、自ら行動することが大切です。今後もコミュニティの皆さんと共に、災害に備える機会を作っていければと思います。(上吉影小学校区コミュニティ 会長 久保庭裕一)

上吉影小学校区コミュニティ



↑ 災害に備えロープの使い方を学ぶロープワーク講習